

CODA と韓国 COA の会員社による第 2 回交流プログラムを開催

2025 年 9 月 18 日

2025 年 9 月 17 日、韓国著作権海外振興機構（COA）および COA 会員社メンバー 23 名が来訪し、CODA および CODA 会員社メンバー 21 名と交流プログラムを実施しました。

本プログラムは、2023 年 11 月に続き 2 回目の開催となり、国境を越えて拡大を続けるオンライン侵害に対し、日韓両国の連携を一層強化することを目的としています。

COA は、韓国著作物の海外流通促進と著作権保護を目的に、放送局、音楽団体、インターネット事業者、ウェブトゥーン製作会社など、韓流コンテンツを代表するコンテンツホルダーが一堂に会し、2017 年 3 月に設立された団体です。今回のワークショップおよび交流会には、COA 会員社から韓国の主要放送局と出版社より 18 社、CODA 会員社からも主要放送局社と出版社より 13 社が集い実施されました。



CODA 会員社と COA 会員社による集合写真

昨今、グローバルに深刻化する著作権侵害を背景に、侵害手口の多様化・複雑化も進んでおり、権利者は継続的に協力的な議論を重ね、適切な対応について共通認識を得る必要があります。さらに、侵害対策の実効性を強化するためには、国際連携の一環として、国境を越えて多くの権利者が共同で取り組むことが重要です。

今回のワークショップおよび交流会は、第 1 回目に引き続き、海賊版サイトや違法アップロードへの効果的な対策を模索するとともに、両団体メンバー間の連携方法を検討し、海

外における実践的な対応策を共有・強化する場として実施されました。

交流プログラムは、開会のセレモニーとして、CODA の後藤代表理事による歓迎スピーチでスタートしました。続いて COA の Han Kyoo Jo 氏 (President)、Sang Hyeok Im 氏 (Auditor) から開催の祝辞をいただきました。

続くワークショップは放送局と出版社に分かれてセッションを実施しました。各セッションでは、日韓それぞれの企業が自社で実施する著作権侵害への対応などについてプレゼンテーションを行い、その後、活発なディスカッションや質疑応答が交わされました。



放送局セッションのワークショップの様子



出版社セッションのワークショップの様子

本交流プログラムを通じ、日韓両国の権利者が直面する課題を共有し、相互理解を深めるとともに、国境を越えた協力の重要性を改めて確認するものとなりました。

CODA は今後も COA との連携を一層強化し、国際的な著作権保護に向けた取り組みを継続的に推進してまいります。

なお、この活動は経済産業省受託事業の一環として行われました。

■参考リリース：CODA と韓国 COA の会員社による交流プログラムを開催（2023.11）

<https://coda-cj.jp/news/1754/>

■韓国著作権海外振興機構（COA）ホームページ

<http://coa4kcontent.or.kr/>

CODA について

CODA（一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構）は、2002 年に日本コンテンツの海外展開の促進と海賊版対策を目的として、経済産業省と文化庁の呼びかけで設立されました。音楽、映画、アニメ、放送番



組、ゲーム、出版などの日本が誇るコンテンツは、日本の国際プレゼンス向上や経済成長の一翼を担っています。デジタル技術の普及が進む今日、巧妙化する著作権侵害から日本のコンテンツ産業を守り、その発展を図ることが一層重要になっています。その中で CODA は、国内外の関係政府機関、団体、企業と叡知を結集し、権利侵害への直接的、間接的な対策や広報啓発活動などに取り組むことで、オンラインを含めた海賊版の抑止や摘発に貢献しています。具体的な事業内容は <https://coda-cj.jp/activity/> から。